

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 福井県立若狭高等学校 倉田 教頭
2. 講師氏名: Dr. Jacqueline B. POCKLINGTON
3. 同行者氏名: 高木 聖実(学部4年生)
4. 実施日時: 平成 27年 1月 29日 (木) 14:15~16:05
5. 参加生徒: 2年生 19人、 1年生 1人、 0年生 0人 (合計 19人)
備考: (例:理数科の生徒) 海洋科学科の生徒
6. 講演題目: (英文) The Ecological Role of Brown Algae in Temperate Marine Ecosystems
(和文) 温帯域の海洋循環システムにおける褐藻類の生態的役割
7. 講演概要:
 - ・研究者になった理由について。オーストラリアの美しい自然や海洋生物に魅せられた。また、環境汚染などにも興味があった。
 - ・研究は、私にとって毎日をエキサイティングにしてくれるものである。日々の発見や感動がとても充実感を味あわせてくれる。
 - ・海藻を選んだ理由。温帯域の海の一次生産者である海藻の重要な役割に興味を持った。
 - ・研究のメインテーマは、ヒジキ類に付着する微小動物の移動や生活史についてである。ヒジキの一年生部分が多年生部分から離脱したとき、そこに暮らす微小動物はどのように移動するかについて今後検討していきたいと考えている。現在は宮城県の2つのフィールドで実験準備をしている。具体的な研究はこれから実施する。
 - ・研究では、ダイビングによる潜水調査を手段としている。寒冷の海での調査は非常に大変である。
 - ・海藻類の他の研究では、ウニが好んで食べる海藻とそうでないものがあることを明らかにしている。研究によりウニの養殖やウニによる海藻の食害を防止できる。
 - ・実際に海藻を観察して触れることが大切。実物を見て触って生物がどれだけいるか調べてみよう(実物を持ち込み観察)
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 70分 質疑応答時間 30分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演、実験・実習

(3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)

同行者によるサポート

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

当日のパワーポイント資料

10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金

11. その他特筆すべき事項: